

Take Free
無料

木曾をモット元気にする情報誌

きそじん

Kisojin

2018

Vol.16

かお 顔 カオ編

木曾人、輝く！

両開き雑誌



スマホ・タブレットで
読めます!!

木曾をモット元気にする情報誌

Kisojin 2018 Vol.16



CONTENTS 目次

〈かお顔カオ編〉

☐が付いたページ番号でご覧ください

- 特集1 お伝えしたい! 森林税のこと。..... A-1
「森林税」は、みなさまの暮らしに活かされています!
- 特集2 木曾で働こう!..... A-4
地元で就職し、やりがいを持って働く若者を紹介します
- ふるさとへの便り..... A-7
サッカー界で活躍する木曾人。より、お便りを頂きました
- 御嶽山 —未来へ—..... A-9
山噴火災害から4年。その記憶を風化させないために...
- どすこい! 御嶽海!..... A-11
劇的な優勝から早3ヶ月...ついに木曾に凱旋!
- クロスワードパズル/編集室便り..... A-14
- 読者のみなさんからの便り..... A-15

魅力的な木曾人を
たっぷり紹介します!



* 表紙の木曾人



編集長が選ぶ

今月号のベスト笑顔!

東野 淳矢くん (南木曾町)

南木曾小学校3年の淳矢君(写真中央)。友達と一緒にひのきの皮むき体験をしました。詳しくはA-2ページにて。



火のある暮らしを楽しむ

BESS 胸ヶ根 [胸ヶ根ICすぐそば] BESS で検索



三遊亭 円楽(六代目)



三遊亭 楽京



鏡味味千代



銭娜

曲芸師 鏡味味千代や楽一門会の新家さんたちも登場!
二胡奏者 銭娜さんのチャリティーコンサートもあります!

色々な催しを企画しています。どうぞお楽しみ下さい。

- ◆ 供養会受付開始 8:00 (12:00 受付終了)
- ◆ 観音供養会 9:00~12:20
- ◆ 御詠歌奉詠 (自由入場) 11:00
- ◆ 落語前座 (自由入場) 11:20 三遊亭 じゃんけん
11:40 三遊亭 鳳月
12:00 三遊亭 好吉
- ◆ 三遊亭円楽師匠 13:00開場 三遊亭楽京
特別公演 13:30開演 鏡味味千代
三遊亭円楽
- ◆ チャリティーコンサート 15:15 銭娜 二胡演奏
- ◆ お楽しみ抽選会 16:00
墨蹟や色紙などお尚様秘蔵のお宝、何が出るかお楽しみ!!

三遊亭円楽師匠 上松町 玉林院 特別公演

テレビでおなじみ!!
玉林院でおなじみ!!
円楽師匠が13度目の来山!!
「玉林院寄席」を行います。
今年もまた、お寺で楽しい
ひとときをお過ごしください!

開場 13:00 入場料 3,000円
開演 13:30

★一般の方へは10月20日より
チケットを販売致します。

※定員になり次第売り切れとさせていただきますので、ご了承ください。
(本堂の中には400名程度しか入れません)

11/24 (土)



屋台

お昼のお弁当などお買い求めください。
毎年好評の「豆腐のたれ」「油あげ」や、数珠・線香など仏具の販売もあります。



お問い合わせ 玉林院 ☎0264-52-2074 長野県木曾郡上松町上松756



お伝えしたい! 森林税のこと。

どーも!「森林づくり県民税(森林税)」キャラクターの`里やん、と`山ちゃん、です。今回はしっかりものの`山ちゃん、がお伝えします。木材などの林産物を供給するだけではなく、土砂災害や洪水を防ぎ、きれいな水や空気を育てて私たちの暮らしに沢山の恩恵をもたらしてくれる信州の森林。その森林づくりを「森林税」という形で県民の皆さんに支えてもらっています。



「森林税」は、こんなところに利活用されています!

間伐材等の利活用による 継続的な森林づくりの推進



間伐し搬出している木材



県産材で作った遊具(木曾町御料館)

成果 身近な森林資源「間伐材」を搬出し、利用する取り組みが行われています。

課題 間伐材の積極的な利活用により、自立的・持続的な森林管理につなげるため、子どもの居場所の木質化や里山資源の薪利用等、多面的な取り組みを推進する必要があります。

里山等の森林づくりの推進 (大桑村)



間伐の作業前



間伐の作業後

成果 平成20年度~29年度にかけて、手入れの遅れている里山の間伐を進めてきています。(平成30年度から森林税は第3期に入っています)

課題 所有規模が小さく分散している森林等では、所有者の同意取得や境界確認に時間を要し、目標通りに整備が進まなかったところがあります。今後、町村や地域の皆さんとの協働により、森林整備を効率的に進めていく必要があります。

森林税を活用して、子ども達が「テーブル・ベンチ作り」

南木曾小学校では、「南木曾の木を知ろう」をテーマに3年生の総合学習が毎年行われています。今年もこれまで地元の山で森林の事を学んだり、木に関わる職人の作業を見学したりして学びを深めてきました。この日は地元の木を使ってテーブルやベンチを作る準備として、南木曾町の木材関連業者で構成される「ウッディ・クリエイト・ナギソ」の皆さんの指導のもと、木の皮を剥く作業を体験しました。



子ども達はドライバーを手に取り、集中して手際よく剥いていきました。この後、製材された木材を使ってテーブルとベンチの製作を進め、町内や観光地等に設置されます。自分たちで作った木製品が地域で活用されることで、木への愛着がわいてきますよ!



製品イメージ

長い皮がよ!

中はつるつる! 中はつるつる!

やりがい
発見！

木曾で働こう！ その2



木曾地域の魅力的な職場で働く皆さんを紹介します！

趣味は卓球！



株式会社吉田木工所

しん や たい き
新谷 泰基 さん
蘇南高校 卒業
大桑村出身 20歳

卓球ラケットを通して自分を磨く！

高校時代から卓球をやっています。自分の町にある吉田木工所が卓球ラケットを専門に製作していることを知り就職を決めました。自ら卓球をやっているため、大会に選手として出場した時、他の選手が自社製品のラケットを使ってきているのを見かけると、仕事のやりがいを感じます。作り手として、そして使い手として、ラケットで自分を磨いていきたいです。

地域を守生まれた町に貢献していきたい

この町に育ててもらったので、この町に何か貢献していきたい。そんな想いがある、消防団の活動をしたり祭りの神輿を担いだり卓球以外のスポーツにも参加したりしています。これからも地元で生きていくと思いますが、もっと町を盛り上げていきたいですね。



趣味は牛と戯れること！

萩野畜産 代表

はぎの かずき
萩野 一樹 さん
木曾青峰高校普通科 卒業
木曾町三岳出身 24歳

祖母の跡を継いで

以前はうちのばあちゃんが畜産をやっていました。でも高校2年の頃、体調の関係ではあちゃんが続けていけなくなり、僕が引き継ぐことにしたんです。なぜこの道に進んだかと言えば…単純に牛が好きだから、かな。牛にも個性があって面白いんですよ。名前を呼べばすぐ近づいてくるのもいれば、「私はほっといて～」みたいなのもいたりして(笑)

経営者として

今年種付けをした牛が市場に出ていくのは少なくとも2年後です。その頃どんな牛が市場で流行るかを予測して種付けをする…難しさもありますが、弟と一緒に、「良い牛」作りに励んでいます。今木曾の畜産農家が急速に減少しています。もっと僕らの後に続いてくれる人が出てきてほしいですね。



あなたの暮らす地域の里山整備に「森林税」を活用しませんか？

地域住民の皆さんが自発的に活用しようとする里山を、長野県ふるさとの森林づくり条例に基づき「里山整備利用地域」として県が認定、その活動が一層進むよう支援します。

「里山整備利用地域」とは？

里山の整備・利用を主体的に行う地域を、市町村長の申出により県が認定します。

里山整備利用地域認定のながれ



里山整備利用地域



森林環境教育の推進



里山の多様性を学ぶ場を造成し、地域への愛着を持った子どもを育成！

例えば
こんな利活用
を支援します！



里山の特性を活かした生産物を、地域の特産品にしませんか？

相談・お問い合わせはこちらまで！

お住まいの地域の里山を利用して活動したいことがある方や団体の皆さん。里山整備利用地域の認定方法や活用するための具体的な支援策などをお伝えします。

木曾地域振興局 林務課 ☎0264-25-2224

★森林税のホームページをご覧ください！

🔍 長野県森林づくり県民税 で検索！



木曾で「相談」ください！！

趣味は車・ドライブ!



木曾南部森林組合
 おくのまさき
奥野 真基 さん
 長野県林業大学校 卒業
 大桑村出身 20歳

自然の中にいること、それが楽しい!

父が大工だったこともあって小さい時から手伝いをしながら木に親しみ、遊びといえば裏山で走り回っていました。高校卒業後林業大学校に進んだのも、木や森についての知識をもっと身につけたかったからです。今、木の仕事に携わるようになり日々山に入っていくのが楽しみです。

森と人に喜んでもらえる仕事を…

地元の山のこんなところに林道があったんだ、その道の奥で働いている人がいるんだ等、色々気づいて山の見方が変わりました。働き出してまだ半年、分からないことも多いですが、森林整備などのためにする測量で、高い精度を出せたときは嬉しいですね。さらに仕事をしっかり覚えて、良い森林を造っていきたいですね。



趣味は音楽鑑賞!



社会福祉法人開田福祉会
 総合福祉施設 開田の里
 いなか
稲田 憂香 さん
 木曾青峰高校 インテリア科 卒業
 木曾町開田高原出身 19歳

近所のお婆ちゃんとの折り紙が原点

小さい頃から近所のお年寄りと遊ぶのが好きで、中学3年頃から将来福祉の仕事に就こうかなという考えはありました。就職して2年目、責任のある仕事で大変なこともあります、利用者さんと接していると本当に楽しいんです。ですから、仕事に対する心構えは「毎日笑顔でいる事!」。目標は、まず介護福祉士の資格を取得することです。

大好きな開田高原!

中学の頃から近所の農道を音楽聞きながら散歩するのが趣味でした。開田の大自然に包まれて、ここに居られる幸せを実感している日々です。時々大好きなEXILEのライブを楽しみに都会へもいきますが、私にとって都会は遊ぶところ、住むところではありません!(笑)



木曾で学ぼう!

長野県上松技術専門校
 的場 正二 校長



長野県林業大学校
 河合 広 校長



信州木曾看護専門学校
 久保 惠嗣 学校長



「ものづくり」が好きな人、木工の匠を目指しませんか!

近年、県産材を使用した住宅や木育など木の良さが見直されています。森林面積が93%を占める木曾地域ならではの、木工訓練を行う「上松技術専門校」がこの地にあります。当校では全国各地から集った訓練生が1年間、技能を磨いています。初心者の方も修了時には、驚くような木製品を製作しています。

未来の木工職人達、上松技専に行こう!

木曾地域は、森林に囲まれ豊富な森林資源があり、昔からそれらを使った伝統工芸品が培われてきたところです。木曾山林の伝統を引き継ぐ木曾青峰高校をはじめ、林業大学校、上松技術専門学校など、林業・木材産業を学べる学校がありますし、木曾谷の入口の塩尻市には、県の研究機関の林業総合センターがあります。

これらの学校・機関が、この素晴らしい立地条件を活用し、有機的に結びつき、人材の育成のみならず、林業・木材産業の地域として、フォレストバレーを形成できたらと思います。

本校は、地方独立行政法人 長野県立病院機構が設置母体となり2014年4月に開校され、第一期生および第二期生の卒業生を送り出すことが出来ました。本年4月には第5期生が入学しました。おかげさまで第1期生29名および第2期生21名は全員看護師国家試験に合格し、木曾病院をはじめ県内外の病院で活躍しています。また、保健師・助産師になって活躍している卒業生もいます。豊かな自然の中、実践力のある看護職の教育に努めている学校です。この地で看護を学んでみませんか。

趣味はバイクツーリング!



木曾病院 地域包括ケア病棟
 ふるせ たかひろ
古瀬 貴大 さん
 信州木曾看護専門学校 卒業
 南木曾町出身 23歳

木曾の人の支えになりたい!

高校の頃、地元のお祭りでお婆ちゃんが転倒したのを目撃、僕は慌てるだけだったのですが、保健師さんがすぐに手当てを。カッコいいなって思ったのが看護師を目指すきっかけの一つですね。看護学生だった2014年、南木曾町の土石流災害が発生、現場で救助する人になりたいと思う気持ちが強まりました。

さらに一步先へ!

今年で2年目です。点滴や注射、また入浴のお世話をする清潔ケア等、常に生身の患者さんと接する仕事は緊張の連続です。でも入院してこられた方が良くなって退院されていくのを見送れた時は、少しでもお役に立てたかなと嬉しくなります。今後はDMAT(災害派遣医療チーム)で活躍できる看護師を目指したいです。





いま い しょうた
今井昌太さん プロフィール

1984年7月16日 上松町生まれ

小学生の時上松SSCに入団して以来、中学・高校・大学とサッカーを続け、2007年に松本山雅FCのミッドフィルダーとしてプロデビュー。松本山雅FCの他にもブラウブリッツ秋田・MIOびわこ滋賀などでプレーし、2015年よりサウルコス福井に入団。2016年には同チームの監督代行として指揮した。今年2月に現役を引退。松本山雅FCユースアカデミースクールコーチに就任し、後進の指導にあたっている。

今井さんの活動はTwitterでも見られます！
みんなフォローしてね！

 @shotaimai6



1984年7月16日生まれ、上松町出身の34歳今井昌太です。
小学校2年生からサッカーを始め、中学校まで上松町で育てていただきました。
高校は神奈川県桐光学園高等学校に進学し、大学はびわこ成蹊スポーツ大学を経て、松本山雅FCに入団しました。
それから松本山雅FCを含め、4チームを渡り歩き昨シーズン限りで現役を引退しました。
現在は、プロとしてのキャリアを始めさせていただいた松本山雅FCでサッカーの普及や、広報活動、イベント活動などの仕事をしています。
色んな夢を持っている子供のみんなに僕から言えるのは「夢は必ず叶うとは言いません。夢を叶えるために努力した人にしか叶えるチャンスは来ない」ということです。これは長年サッカーを続けてきて感じたことでもあります。
例えば、挨拶、感謝の言葉など当たり前前のことを当たり前前にできる人は、努力を続けていける人間だと思います。

そういう人には必ずチャンスは訪れます。後は真面目に真剣に楽しんでください!!
上松町、木曽郡から松本山雅FC、または日本代表で活躍してくれる選手が育っていくことを願うと共に、自分に出来ることが少しでもあるなり、生まれ育った上松町、木曽郡に還元していきたいと思っています。



故郷への想いを心に木曽を離れて暮らしている人達から
のメッセージをお届けします。
上松生まれの今井昌太さんは、少年時代からサッカーを続け、松本山雅FCの選手としても活躍しました。現役を引退し、後進の育成に力を入れる今、夢を追う人達へ向けての力強いエールを寄せていただきました！



御嶽山

—未来へ—

御嶽山噴火災害発生から4年。9月27日、今年も犠牲者追悼式が、王滝村松原スポーツ公園にある慰霊碑前で執り行われました。遺族を代表し追悼の言葉を述べられたのは、次女照利(あかり)さん(当時11)を亡くした長山幸嗣さんでした。その想いを一人でも多くの方に伝えたい旨を長山さんにお伝えし、お許しを頂きましたので、ここにその全文を掲載させていただきます。



遺族を代表し、追悼の言葉を述べさせていただきます。
私は、御嶽山噴火災害で次女の照利と友人を失いました。照利は当時11才で小学5年でした。当日、それが最後の別れとなることを夢にも思わなかった私は、いつの間にか朝早く出発した娘と言葉を交わすことはありませんでした。今となってはなせ起きて見送ってあげなかったのかと悔やまれます。親として何もしてやれなかった思いばかりがわいてきます。照利は大声でよく笑う子でした。もつと一緒に笑っていたかったです。あれから4年になりますが、毎年9月を迎えるころから、いつにもまして心が強く揺れ動きまします。どうしても、4年前の9月27日の事を思い出すのです。

晴れ渡った青空のもと、友人やその家族と嬉しい登山を満喫していたあの日。誰よりも先に登頂し、喜び、友人と共に空腹を満たす昼食を終えた頃、山は激変しました。空に突然立ち上った噴煙。逃げる間もなく襲い掛かってきた火山灰と熱風。瞬にして暗黒の暗闇に覆われ、動くこともできず呼吸もままならない。「うわー」「助けて」「大丈夫か」はじめにあった人々の声も、噴石の降る中に聞こえなくなりました。隣にいたはずの大切な家族、恋人、友人を思いながらも何もできず、ただただ耐えるしかなかった時間。ようやく目を開くことができると、どこまでが地面でどこからが空なのか分からない程に薄暗く、一変した灰

色の景色が広がっていました。噴石により息絶えてしまった方々。自らも怪我を負いながらもなお、愛する家族の最期を看取り、その場に残留して山を下りるしかなかった方々。大怪我を負い、動けず一晚を山で乗り越えた方々。家族や友人の安否を案じ、少ない情報を得るために詰めた待機所で、祈りながら待ち続けた日々。4年経った今も、あの日の様々な出来事は、私たちの心に深く突き刺さります。

それでもこの4年間、未だ癒えぬ悲しみを抱えながらも、亡き家族や友人と、共に生きた良き時間を思い出しながら笑顔に勤め、少しでも前向きに生きようと頑張ってきたように思います。また遺族のみならず、共に登山した仲間を思い、苦しい胸の内を抱えている方や、怪我や精神的後遺症が続いている方がおられる事も聞いております。この噴火災害によって、私達の生活は様々に変わってしまいました。

今、私が一番心痛く思うこと願うことは、未だ行方不明となっている5名の方々が発見されることです。帰りを待つ家族の方々の、これまで通過してこられた心情はいかばかりかと思うときには、涙しかありません。秋も深まり山頂に雪が望むと、またその思いは年を越えて続いていくのです。いつもその心に寄り添い、共に祈っていききたいと思えます。

そして、もう一つ願うことは、7年ぶりに起こった地震の前兆現象を、どうして登山者に伝え、備えなかったのか、何故レベルを上げて入山規制しなかったのか、しっかりと検証してもらいたいという事です。それは戦後最悪の噴火災害によって、奪われた63人もの生命を無駄にせず生かすことになりました。またこの検証は、今後の火山災害における助けとなり、二度と悲劇を繰り返さないための教訓に繋がると思います。

今日、この日を迎え、事故当時人命救助に力尽くしてくださった消防・自衛隊・警察の皆様、サポートして下さった地域の皆様、携わって下さった全ての皆さまに、改めて深く感謝申し上げます。そして、悲しみを共にし、支えて下さった家族、友人、学校、職場、地域の皆様にも深く感謝致します。

何年たっても、愛する人を失った悲しみは癒えることはありません。ですが、だからこそ強く、愛と勇気をもって、前に進む日々を積み重ねていきたいと思えます。

平成三十年九月二十七日

遺族代表 長山幸嗣

情報誌Kisojinは スマホ・タブレットPC でもご覧になれます!!

This content is available all over the world in the Catalog Pocket app.
Please enjoy the content in your native language.



専用アプリ「カタログポケット」をダウンロードしてご利用ください。

〈キリトリ〉

郵便はがき

3 9 9 5 6 0 7

62円切手をお貼りください

木曾郡上松町大字小川寝覚2409
一般社団法人 木曾人

木曾をもっと元気にする情報誌

Kisojin 編集部 行

●ご意見・ご要望など、何でもお書きください!

スマホやタブレットで
簡単操作!

★文字・写真の拡大表示
★記事の読み上げ機能



★外国語に翻訳表示
(英語・中国語・韓国語...等)
★外国語で読み上げ機能

※画面表示はお使いのデバイスによって異なります。※詳しい操作については、カタログポケットのヘルプをご参照ください。



優勝報告会が行われました!

故郷の星が凱旋です!名古屋場所で見事初優勝を果たした御嶽海関は、10月2日母校の上松小学校と木曾町中学校を訪れ、優勝報告会を行いました。どちらの会場も御嶽海関登場とともに大歓声が沸き起こりました。「こうして皆さんに報告できて嬉しいです」と笑顔で話す御嶽海関には、児童・生徒から様々な質問も投げかけられていました。「一日に稽古はどれくらいしますか?」「ちゃんこ鍋の他に好きな食べ物は?」...一つ一つの質問に考えながら丁寧に答えていく御嶽海関。「強い体を作るために努力していることは?」の質問には、「よく食べる事。いざというときにはなんといっても白米を食べると力が湧いてきます。」

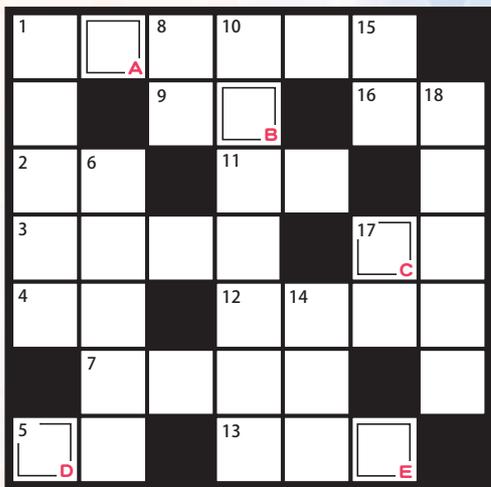
また木曾町中学校の生徒から中学校の頃の思い出を尋ねられると、「相撲部の顧問だった安藤均先生(現三岳小学校長)はとっても厳しかったけれど、人間としてのあり方まで教えていただきました」と恩師への感謝を話されていました。

木曾に続いて松本で行われた祝賀会でも大勢の参列者に向かい「来場所の活躍」を誓った御嶽海関でした。さらに高みへ! 頑張れ御嶽海!



プレゼントが当たる!!
クロスワードパズル

木曾人ならば解けるはず!?



A~Gのマスに入る言葉を並べ替えて「正解ワード」を導き出してください!

--	--	--	--

ヒント:木曾の冬の味覚のひとつです♪



- タテのカギ
1. 木祖村数原発祥の伝統工芸品
 6. 秋の木曾路に楽しみながら甘い和菓子
 8. 「引く」ではなく
 10. 木曾八景のひとつ
 14. 「五個」を違う言い方で
 15. サリンジャーの小説
 17. 「凹」の反対は?
 18. 木曾の冬を温かく過ごせる南木曾町に伝わる防寒着

●ヨコのカギ

1. 木曾郡6町村のひとつ
2. 小学校で習う計算式
3. 近代ロシア音楽の父、と呼ばれる作曲家
4. 御嶽海関も何万回と踏んで強くなりました
5. 太鼓を鳴らす時に使う棒
7. 人の毛のこと
9. 衣服の下の末端部
11. 欲しくてたまらない時、ここから手が出ます
12. 会社の「経常利益」をこんな風呼んだりします
13. 大きなお屋敷などで世話をしてくれる方
16. 木曾のお隣、広い都市です
17. 延命長寿を祝って正月に飲みます

★本誌付属のアンケートはがき(左頁)に「正解ワード」を記入して、郵送またはFAXでご応募ください。正解者の中から抽選で『パン工房ほっぺのクッキーセット』をプレゼントします!!

編集室便り



Kisojinに対する皆さんの感想や希望を誌面に反映させていくために、11号から「読者アンケート」を募らせていただいておりますが、寄せていただくハガキの数が最近徐々に増えてきて…スタッフ一同喜んでおります。

「父が木曾の実家で一人暮らしをしているので毎週帰ります」という都会暮らしの方や、木曾路を初めて旅したという方。木曾に引っ越して間もないので色々な地元情報が欲しいという方も。少しずつ皆さんのお役に立てるように…頑張っていきます!

Kisojin — Vol. 16 —

2018年11月発行

編集・発行 一般社団法人 木曾人
 〒399-5607 長野県木曾郡上松町大字小川寝覚2409
 TEL:0264-24-0116 FAX:0264-24-0117
 E-mail info@kiso-jin.com
 印刷・デザイン 山田印刷株式会社

読者アンケートにご協力ください!!

下記のはがきに必要事項をお書きの上、郵送またはFAXください。↓

※郵送の場合はキリトリ線で切り離し、お手数ですが62円切手を貼ってご投函ください。

FAX 0264-24-0117 ※FAXの場合はキリトリは不要です。

※お預かりした個人情報は、情報誌『Kisojin』の編集以外の目的には、使用しないことをお約束します。



冬の朝



朝の寒さがこたえる季節です。体調には気をつけましょうね♪

〈キリトリ〉

Kisojin 読者アンケート

- 今号のKisojinの中で興味を惹かれたページを教えてください
 ※複数回答OK

--	--

- 『Kisojin』を見て、実際にに行った事があるお店やイベント等がありますか?
 ・はい ・いいえ
 「はい」の方は詳しく教えてください。 ※複数回答OK

--	--

- 今後『Kisojin』で取り上げて欲しい記事はなんですか?

--	--

クロスワードパズルの答え

住所	〒						
	TEL - -						
氏名						性別	男・女
年齢	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代		
	60歳代	70歳代	80歳代以上				
職業	1. 学生 2. 会社員 3. 自営業 4. 専業主婦(夫) 5. フリーター 6. 無職 7. その他の職業()						



読者の皆さんより

★ 変わった作りの本ですね。一瞬間違えて製本したのかと思いましたが(笑)

人にフオーカスした記事となっており、情熱やエネルギーを感じます。情報を外に発信するというよりも、参加している人を元気にするフリーペーパーだと感じました。元氣な木曾人に、また会いに行きたくなります。(川崎市Kさん、男性)

👏 ありがとうございます！両開きの作りは賛否両論いただいておりますが、楽しんでいただければ幸いです。木曾の人たちはとても元氣ですよ！ぜひ、木曾に遊びに来てくださいネ！

★ 無料で配っていただけではありません。クロスワードパズルを考えるのが楽しみです。楽しいページばかりです！

(大桑村Mさん、女性)

👏 ありがとうございます！パズルも楽しんでただけて嬉しいです！これからもよろしくお願ひします！

★ いつも楽しみにしています。記事はもちろん、顔写真も知り合いが居るか探するのが楽しいです。(木曾町三岳Yさん、女性)

👏 ありがとうございます！顔写真のコーナーが好きという読者さんは非常に多いです。木曾全域のみなさんの顔を掲載できるようにがんばります！



皆さまからの
お問い合わせ
お待ちしております！

✉ info@kiso-jin.com

FAX 0264-24-0117

